

人的交流プロジェクトチーム発行
R6・7号 令和6年11月28日
小田原支援学校 支援連携部



(デンソーウェーブ登録商標)
小田原支援学校 HP
はこちらから



インクルーシブ教育へ向けて

題字:小田原支援学校 高等部 3年生

おたがいを知ろう！居住地交流と学校間交流

小田原支援学校では、在籍する児童生徒の居住地の学校や地域とのつながりを深めるための「居住地交流」や「学校間交流」を行っています。

「ともに学び ともに生きる」
を大切に考えています

居住地交流とは？

特別支援学校の子どもたちが自分の住んでいる地域の小中学校へ行き、一緒に学び、学習や行事に参加することです。地域でともに過ごす仲間として関わる機会となります😊

居住地交流に期待されることは？

特別支援学校の子どもにとって居住地交流での学習は、小・中学校の子どもと教科の学習や学校行事などを通じて多様な考えに触れるとともに、コミュニケーション力を高めたり、お互いの個性の理解を深めたりする学びの場となります。また自分が住んでいる地域の同年代の子どもと学習活動をともにし、より多くの仲間と活動することにより、人間関係を広げて良好な関係を築いたり、社会性を身に着けることができると期待されます。小・中学校の子どもたちにとっては、地域の仲間として、障がいのある子どもと自然に関わりながら互いのことを正しく理解し、ともに助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ機会となります。

居住地交流の様子はこちら
(居住地交流指導案集)



本校の居住地交流の実施例

音楽会と一緒に参加して楽器を演奏しました。
(小学校・通常の学級)

運動会の練習にも参加し、本番でも小学校の児童と一緒に走りました。
(小学校・特別支援学級)

だれでも公平に参加できる「55分ボーリング」のルールを本校の児童がクラスで説明し、みんなで楽しみました。とても盛り上がりました。
(小学校・通常の学級)

プールの授業と一緒に参加しました。
(小学校・通常の学級)

買い物ごっこの授業に参加しました。売るものも学校で作って持ってきてみんなで楽しみました。
(小学校・通常の学級)

国語の授業に参加しました。絵本の読み聞かせや文字探しゲームと一緒に取り組み、個別学習では支援学校で取り組んでいる課題を行いました。(小学校・特別支援学級)

学校間交流

小田原支援学校では、地域の、小学校、中学校、高等学校と学校間交流を行っています。

今年度はこんな取り組みをしています！

小田原市立富水小学校の児童が来校し、本校児童と一緒にレクリエーション活動などを行いました。(小学部)

県立小田原高校の生徒会の生徒とボッチャなどをして楽しみました。(肢体不自由教育部門高等部)

城北工業高校で、ドローン操作体験を行いながら交流しました。(知的障害教育部門高等部)

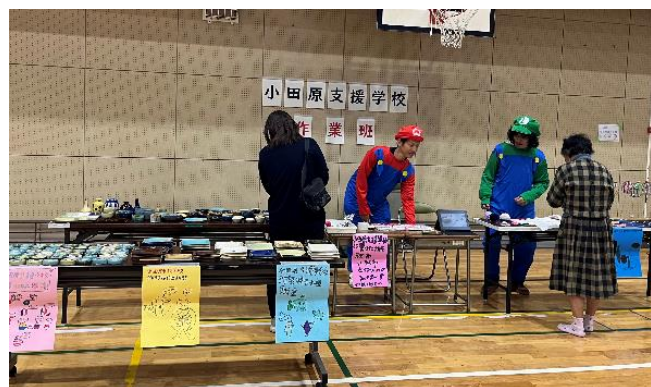
県立古田島高校の生徒が来校し、レクリエーション活動を通して交流しました。(知的障害教育部門中学部)

湯河原中学校の生徒とレクリエーション活動を楽しみました。(湯河原校舎 小中学部)

県立足柄高校と部活動交流しています。(知的障害教育部門高等部)

西湘高校の吹奏楽部の生徒が来校し、演奏を通して交流しました。(高等部)

足柄小学校ふれあい広場で 小田原支援学校の作業班の作品を 販売しました！



11月16日(土)に行われた、「足柄小学校ふれあい広場」で、小田原支援学校の高等部の作業班で制作した作品を販売しました。やきもの班、手工芸班、ハンドメイド班、木工班の作品約150点を展示販売し、多くの方に作品に触れていただく機会となりました。

この販売に向けて、高等部の作業班では、作品選びや値段付け、梱包などを行い、美術の授業でポスターも制作しました。インクルーシブ通信5号でも紹介しましたが、小田原支援学校の進路学習の一環として、作業学習を毎週火曜日に行っています。販売ブースでは、作業の様子も動画で見せていただきましたが、生徒たちは、一年間一つの作業班で、役割分担しながらチームで作品作りや様々な作業に取り組んでいます。作業は大変ですが、自分たちが作った作品を買ってくれる方に喜んでいただけることは、生徒たちにとってとてもうれしいことです。これからもいろいろな場所で作品を紹介していきたいと思えます。